

パフォーマンス課題を設定した文学教材の授業

文学教材



パフォーマンス課題



話し合い活動

ごんぎつね (光村4年下) ごんぎつねのポストカードを作ろう リテラチャー・サークル

教材とポストカードの特徴

ごんぎつね

- ・美しく豊かな
情景描写の多さ
- ・作家により描かれた
挿絵や絵本の**表現の違い**
- ・豊かに想像できる
作品の主題や**登場人物の気持ち**

ポストカード

- ・イラストや写真がメイン
であり、相手に**想い**を
伝える手段
- ・伝えたい想いに合わせた
絵や**メッセージ**の表現
- ・教材の特徴から感じた印象や込
めた想いに合わせた**画材**の工夫

リテラチャー・サークル

- ・課題に対して、児童が自発的に
質問をし合うことで、課題に取り
組む**必然性**と**場**の提供
- ・学習前に課題について考えてく
ることで、**話し合い活動の時
間の確保**と
振り返りの時間の充実
- ・一人一人の話す機会の増加によ
り、グループへの**責任感**の強化



そのやさしさを
大切に



いつも、まりがとろ
少しずつ成長してい
ます。



この場面のよさについて

この場面はごんがウナギをぬすんでしまっておっかあにウナギをたべさせられなかったことを知って反省し、つぐないにくりや松たけを兵十にとどけに行く場面です。ごんはちゃんと反省をし、つぐなおうとしているのでごんのやさしさに感動しました。作者は、そんなごんのようなやさしさをいつももって大切にしてほしいという気持ちがこころにつたわってきました。

この場面のよさについて

〈場面の紹介〉
ごんが兵十からうなぎを奪い取った償いに毎日くりや松たけを持っていくところ。

〈人物の様子や行動から感じたこと〉
毎日そっと物置の方へ回って、その入口にくりをおいてかえったので、うなぎをとった償いにしてはかなり優しいことをしていると思
い、ごんは兵十に感謝していると感じました。

〈その場面に込められた作者の思い〉
ごんが一生懸命うなぎを盗んだ償いをし、兵十に謝りながら貧しい暮らしをしている兵十を助けている。

この場面のよさについて

場面の紹介
人物の様子や行動から感じたこと
その場面に込められた作者の思い

ごんは最初の場面だけだといじわるなきつね（ぬすつぎつね）だと思われていたけど誰かのために行動できる優しいきつねだということが分かる場面になっているのかなと思いました。